

2010年サンクスギビング特別集会

標 語

主の回復は、キリストをわたしたちの
中心、実際、命、すべてとして回復すること、
キリストのからだの一を回復すること、
キリストのからだのすべての肢体の機能を回復することです。

神聖なエコノミーにおいて、
キリストは神の油塗られた方、万物のうちで首位である方、
万物のかしら、また中心、
すべての中ですべてを満たしている方、
聖徒たちの分け前です。

神聖な三一の生ける実際である
その霊の実際によって、
キリストのからだの一は真のもの、
また生けるものとなります。

預言すること、キリストを人々の中へと語り込むことは、
あなたを勝利者とします。
預言することが、勝利者の機能です。

2010年11月25日—11月28日

サンクスギビング特別集会のメッセージアウトライン

主題：主の回復に対して新鮮なビジョンを持つ必要がある

メッセージ 1

神のみこころ、サタンの策略、主の回復

聖書：啓4:11. コロサイ1:9, 18. 3:4, 10-11. エペソ4:3-6, 11-12, 16。

I. 神は定められた御旨の神であり、彼ご自身の喜びにしたがったみこころを持っています——啓4:11. エペソ3:9-11. コロサイ1:9：

A. 神のみこころは神の願望です。神のみこころは神が行なうことを願っているものです——エペソ1:9：

1. 神の大いなる喜びは彼のみこころからのものであり、彼のみこころの中に具体化されています。ですから、彼のみこころが先に来るのです——5節。
2. 神はキリストの中にある彼の啓示を通して、すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、昇天を通して、みこころの奥義をわたしたちに知らせてくださいました——9節. 3:9。
3. 神はみこころの熟慮にしたがってすべての事を行なわれます。神のみこころは彼の意図であり、彼の熟慮は、彼がどのようにして彼のみこころと意図を完成するかについての考慮です——1:11。

B. コロサイ人への手紙は、神の大いなる、永遠のみこころに関する書です——1:9. 4:12：

1. コロサイ人への手紙が啓示していることは、神の願いと意図にしたがった、全宇宙における、創造における、贖いにおける、来たるべき時代における、永遠における彼のみこころが何であるかということです。
2. コロサイ第1章9節における神のみこころとは、彼の永遠の定められた御旨のみこころであり、キリストに関する神のエコノミーのみこころです——エペソ1:5, 9, 11。
3. 神のみこころを知る全き知識を持つことは、神のご計画の啓示を持つことです。それによって、わたしたちは、神が宇宙において計画して行なおうとしていることを知ることができます——啓4:11。

C. 神のみこころはキリストに集中しており、キリストのためです。キリストは神のみこころにおいてすべてです——コロサイ1:9：

1. 9節における神のみこころはキリストを指しています。神のみこころは深遠であって、わたしたちがすべてを含む、無限に拡張するキリストを認識し、経験し、生きることと関係があります。彼は神であり、人であって、宇宙におけるすべての積極的な事柄の実際です——2:9, 16-17。
 2. キリストは首位であり、すべてのもののうちで第一位である方です——1:18。
 3. すべてを含む、無限に拡張するキリストは、神のエコノミーの中心性と普遍性、また中心と円周です——15-27節. エペソ1:10 :
 - a. 神のエコノミーにおいてキリストはすべてです。神はキリストを必要としており、またキリストだけを必要としています。彼は不思議で、首位である、すべてを含むキリストであって、すべての中ですべてとされます——マタイ17:5. コロサイ3:10-11。
 - b. 神のエコノミーにおける彼の意図は、不思議で、すべてを含む、無限に拡張するキリストを、わたしたちの命、またすべてとしてわたしたちの存在の中へと造り込むことです。それはわたしたちが三一の神の団体の表現となることができるためです——1:27. 3:4, 10-11。
 4. 神のみこころとは、すべてを含む、無限に拡張するキリストがわたしたちの分け前となることです——1:9, 12。
 5. 神のみこころとは、わたしたちがキリストを認識し、キリストを経験し、キリストを享受し、キリストで浸透され、キリストをわたしたちのパーソン、また命とすることです——3:4, 11。
- D. 神のみこころとは、キリストのからだとしての召会を持つことです——1:9, 18. 2:19. 3:15 :
1. 神のみこころとは、キリストのためにからだを得て、彼の豊満、表現とすることです——ローマ12:2, 5. エペソ1:5, 9, 11, 22-23. 4:16 :
 - a. からだの生活を生きるとは、「何が神のみこころであるか……を……わきまえる」ことです——ローマ12:2, 4-5。
 - b. もしわたしたちが召会生活の中で行動し、機能しているからだの正常な肢体であるなら、わたしたちは神のみこころの中にいる人です——I コリント1:1-2. エペソ1:1. 5:17. ローマ12:2, 4-5。
 2. 召会はキリストのからだ、すなわち、三一の神と彼の選ばれ、贖われた人たちが構成された実体です——エペソ1:22-23. 4:4-6。

3. キリストはからだのかしらであり、わたしたちは彼のからだの肢体です——コロサイ1:18前半、2:19、エペソ4:15-16。

a. からだの中に生きることは、かしらの下で、肢体たちと共に団体的に生活することです——15節、コロサイ2:19。

b. からだの生活を生きるために、わたしたちはかしらの下にいないとならず、またかしらをわたしたちの命、わたしたちの全存在の主要な目的、中心としなければなりません——1:18前半、2:19。

4. からだは神の増し加わりによって成長します。からだの成長はわたしたちの内側の神の増し加わり、神が加えられること、神の増加にかかっています——19節、エペソ4:16。

II. 神の敵であるサタンは、神のみこころに反対することにおいて、また神の定められた御旨を妨げる働きにおいて非常に活動的です。彼には召会に敵対する三重の策略があります——イザヤ14:12-15、エゼキエル28:12-19:

A. サタンはキリストの代替物をもたらします——Iヨハネ2:18, 22, 4:3:

1. これらの代替物は、哲学、文化、律法、宗教、賜物を含んでいます——コロサイ2:8, 3:10-11、ヘブル8:6, 9:23, 10:5-10、ガラテヤ3:1-3, 24, 1:15-16, 2:20, 4:19、Iコリント1:22-23, 12:31。

2. 反キリストの者の原則とは、まずキリストであるものを否み、それからキリストを他のものに置き換えることです。反キリストの者であることは、一方でキリストに敵対することであり、もう一方でキリストに代わるもの、キリストに置き換わるものを持つことです——Iヨハネ2:18, 22, 4:3。

3. 自己はキリストに相対し、キリストと置き換わることを求めます——マタイ16:16, 23-25、ガラテヤ2:20。

B. サタンは働いて、キリストのからだを分裂させます。分派、宗派、からだの分裂は、キリストの団体の表現を消し去ります——Iコリント1:10-13前半、ガラテヤ5:19-20。

C. サタンは聖職者・平信徒階級制度、すなわちニコライの者たちのわざと教えによって、キリストのからだのすべての肢体の機能を殺します——啓2:6, 15:

1. 啓示録第2章6節と15節の「ニコライの者たち」は、一般の信者よりも自分自身を高く評価する一群れの人たちを指しています。これはカトリックとプロテスタントによって採用され、設立された宗教の階級制度です。

2. 聖職者・平信徒階級制度の目標は、キリストのからだを無効にして、それを宗教と置き換えることです——参照、エペソ4:12-13, 16。

III. 主の回復は、キリストをわたしたちの中心、実際、命、すべてとして回復すること、キリストのからだの—を回復すること、キリストのからだのすべての肢体の機能を回復することです——コロサイ1:18. 2:19. 3:10-11. エペソ4:3-6, 12. Iコリント14:26 :

A. 神の意図は、全く、完全に、キリストのパーソンを回復することです——ガラテヤ1:15-16. 2:20. 4:19 :

1. 神のエコノミーにおける神の目標は、キリストがすべてとなることです——コロサイ3:4, 10-11。

2. 神がキリストだけを求めており、神の目にキリスト以外のものは何も重要ではないことを、わたしたちが見ることは極めて重要です——1:18. 2:9. 3:4, 10-11. ピリピ3:7-10 :

a. キリストが首位であるのは、三一の神格において(2:9. ヨハネ15:26. コロサイ1:18後半-19. 2:9)、神の旧創造において(1:15後半. ヘブル2:14前半)、神の新創造において(コロサイ1:18. Iコリント15:20. ローマ8:29. エペソ1:20-23)、神の引き上げることにあります(使徒2:33前半. エペソ1:22後半. ピリピ2:9前半)。

b. キリストは信者たちのすべてです。すなわち、神がわたしたちに割り当てられた分け前(コロサイ1:12. Iコリント1:2)、わたしたちの命(コロサイ3:4前半. ガラテヤ2:20前半. ピリピ1:20-21前半. ガラテヤ4:19. コロサイ2:19後半)、わたしたちの栄光の望み(1:27)、わたしたちの必要と享受です(ヨハネ8:12. 6:51, 57後半. Iコリント10:4. ヨハネ20:22. ガラテヤ3:27. ヨハネ15:7前半. コロサイ2:16-17. マタイ11:28)。

c. キリストは神聖な備えです。すなわち、わたしたちに対する神の力(Iコリント1:24前半)、また神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、わたしたちの義、聖別、贖い(24節後半、30節)。

d. キリストは召会のすべてです。すなわち、からだのかしら(コロサイ1:18)、かしらのからだ(Iコリント12:12)、土台(3:11)、隅の石(エペソ2:20)、新しい人のすべての肢体です(コロサイ3:10-11)。

B. 主はキリストのからだの—を回復することを願っておられます——エペソ4:3-6 :

1. 主の回復は、キリストがただ一つのからだを持つという真理に基づいています——1:22-23. 4:4, 16。

2. キリストのからだは宇宙的に唯一無二です。からだは宇宙的に唯一無二なのですから、キリストのからだの交わりも宇宙的に唯一無二です——マタイ16:18. エペソ4:4-6. 使徒2:42. I コリント1:9. II コリント13:14。
 3. 唯一のキリストのからだは多くの地方において地方召会として表現されます。一つの宇宙召会、すなわち、キリストのからだは、多くの地方召会、すなわちキリストのからだの地方的な表現となります——ローマ12:4-5. 16:16. エペソ4:4. 啓1:4, 11。
- C. 主は、キリストのからだのすべての肢体の機能を回復して、神の定められた道にしたがって新約エコノミーを実行することを願っています——エペソ4:12, 16. I コリント14:26。
1. すべての信者はキリストの肢体、神の祭司、キリストの枝、主の奴隷です——ローマ12:4-5. 15:16. I コリント12:14-22. I ペテロ2:5, 9。
 2. 賜物のある人たちは、命の供給をもって聖徒たちを養い、彼らを命において成長させることによって、聖徒たちを成就して、賜物である彼らが行なっていることを行なわせ、キリストのからだを有機的に建造します——エペソ4:11-16. 使徒20:20, 31. 6:4. I コリント3:2, 6. I ペテロ2:2。
 3. からだは、キリストのすべての肢体がそれぞれ自分自身の度量の中で機能することによって、直接、建造されます——エペソ4:16。